

取扱説明書

モーターサイクルバッテリー用充電器 12V専用

ProTec P1210TR/P1230TR II

このたびは、モーターサイクルバッテリー用充電器をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本器は維持充電機能を備えた12Vバッテリー専用充電器です。ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。尚、お読みいただいた後もお手元に置き、ご活用ください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項はあなたやほかの人々への危害や損害を未然に防止するためのものですので、必ず守ってください。

 危険	使用者が死亡あるいは重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合	
<ul style="list-style-type: none">■タバコなどの火の気のある場所、風通しの悪いところでは使用しないでください。●バッテリーが引火爆発したり充電器が過熱・発煙する原因となります。		
<ul style="list-style-type: none">■モーターサイクル用バッテリー以外のバッテリーを充電しないでください。また、バッテリー充電以外（直流電源などとして）に使用しないでください。●充電器が過熱したり、バッテリーの液もれ・発熱・爆発の原因となります。		 
<ul style="list-style-type: none">■クリップをバッテリーに接続するときは、必ず電源スイッチをOFFにしてください。また、充電停止時は電源スイッチをOFFにしてからバッテリーよりクリップを外してください。●操作順序を間違えると発生するスパークによりバッテリー爆発の原因となります。		 
<ul style="list-style-type: none">■クリップはバッテリーの端子に正しく接続してください。 赤クリップ側 ⇒ バッテリーの⊕ 黒クリップ側 ⇒ バッテリーの⊖ に、確実に接続してください。●充電器が過熱したり、バッテリー爆発の原因となります。		
<ul style="list-style-type: none">■子供・乳幼児には手をふれさせないように注意してください。●けがや感電したり、充電器が過熱したり、バッテリー爆発の原因となります。		
<ul style="list-style-type: none">■ガソリン・オイルなどの可燃物の周辺や法令で第一種・第二種危険場所に指定されている場所では使用しないでください。●火災や引火爆発する原因となります。		
 注意	使用者が損害を負う危険が想定される場合、または物的損害のみの発生が想定される場合	
<ul style="list-style-type: none">■直射日光下や発熱体の近くなど高温の場所では使用しないでください。●充電器の過熱・焼損、バッテリーの液もれ・発熱・変形の原因になる恐れがあります。		
<ul style="list-style-type: none">■湿度の極端に高い場所、雨・雪など水分のかかる場所で使用しないでください。●漏電・感電・充電器破損の原因になる恐れがあります。		
<ul style="list-style-type: none">■振動・塩害・化学性ガス害の受けやすい場所での保管や使用はしないでください。●漏電・感電や故障の原因になる恐れがあります。		
<ul style="list-style-type: none">■本充電器の交流入力力は家庭用AC100V（商用電源のみ）です。指定以外の電源電圧で使用しないでください。●充電器が過熱したり、感電・けがの原因になる恐れがあります。		
<ul style="list-style-type: none">■電源コードは、コードを引っ張らず必ずプラグを持って抜いてください。また、使用しない時はプラグをコンセントから抜いておいてください。●電源コードが破損し、感電・発煙・発火・火災や感電・けがの原因になる恐れがあります。		
<ul style="list-style-type: none">■分解したり、改造したりしないでください。●発熱・発火・火災や感電・けがの原因になる恐れがあります。		
<ul style="list-style-type: none">■異常や不具合が生じた場合には、ただちに使用をやめメーカーか、販売店にご相談し、点検・調整・修理はメーカーかメーカーが指定するサービス店に依頼してください。●充電器の過熱や感電、バッテリーの爆発などの原因になる恐れがあります。		

ご使用の前に

●維持（トリクル）充電機能

バッテリーの自己放電を補い、常に使用可能なレベルを保つ機能です。オートバイに乗らない間、維持充電を継続することによって、満充電状態を維持することができます。尚、連続充電期間は3ヶ月以内としてください。

●充電器接続の前に、次の事項を必ずご確認ください。

- ①液式バッテリーの場合、電解液レベルが通常の範囲内（min.とmax.の間）にあることを確認し、足りない場合は、精製水を補充してください。
- ②本器電源スイッチがOFFになっていることを確認してから作業してください。
- ③6Vバッテリー・自動車用バッテリー等、適合バッテリー以外のバッテリー及び劣化したバッテリーは充電しないでください。
- ④家庭用100V以外の電源（200V、発電機、車中電源等のコンバーター）は使用しないでください。
- ⑤直射日光の当たらない風通しの良い所で充電してください。
本器をビニル袋等で覆ってのご使用は、故障等の原因となります。
- ⑥バッテリーを放電したまま放置しておくと、新しいバッテリーであっても回復不能になりますのでご注意ください。

ご使用方法

充電の手順（別売りカプラーキットをご使用の場合は、カプラーキット本体の取扱説明書を必ずお読みください）

1. 必ず電源スイッチがOFFになっていることを確認の上、作業を進めてください。
2. バッテリー端子を確認の上、⊕端子に赤クリップを、⊖端子に黒クリップを接続してください。
（別売りカプラーキットご使用の際は、コネクタを車両側コネクタに確実に接続してください）
3. 電源プラグをAC100Vコンセントに差し込んでください。
4. 電源スイッチをONに切り替えてください。赤LEDが点灯し充電が始まります。
5. 充電が進行し、80%以上充電状態になると、緑LEDも点灯します。この状態は車両の走行に問題ないレベルに回復しております。引き続き充電を継続すると満充電状態に達し、その状態を維持します。
（維持充電中は、緑LEDのみ点灯状態となります）
6. 充電を停止する時は、本器の電源スイッチをOFFにし、電源プラグ、充電クリップを取り外してください。
（別売りカプラーキット使用時は、接続コネクタを外し、車両側はコネクタにフタをしてください）
⑨：維持充電を継続する場合の連続充電期間は、3ヶ月以内としてください。

LED表示と充電状態

充電状態	赤LED	緑LED
充電器停止	消灯	消灯
回復充電中	点灯	消灯
※充電休止中	消灯	消灯
80%以上充電状態	点灯	点灯
維持充電中	消灯	点灯

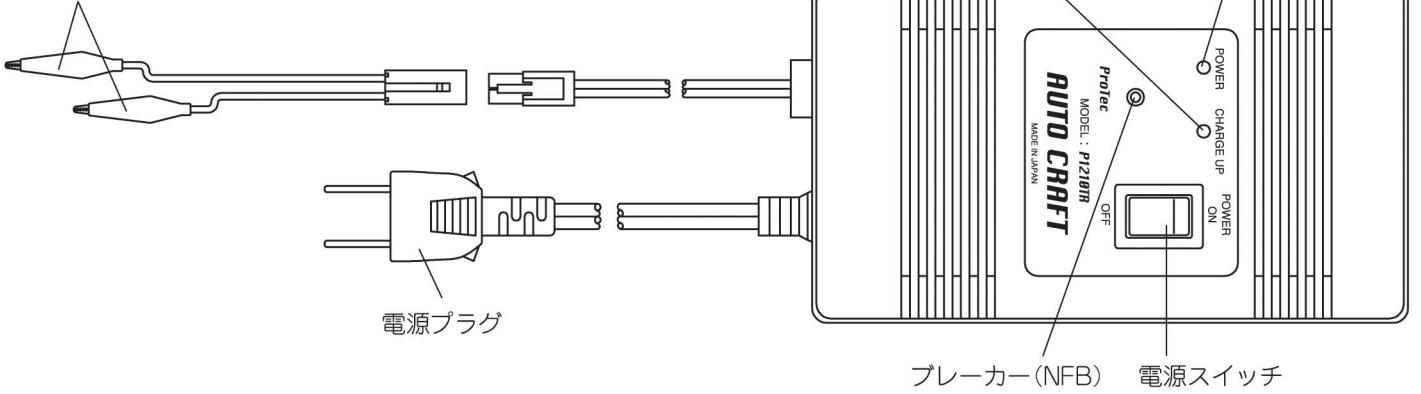
※充電器内部温度が高くなり、サーマルプロテクタが動作し充電が一時休止します。

各部の名称

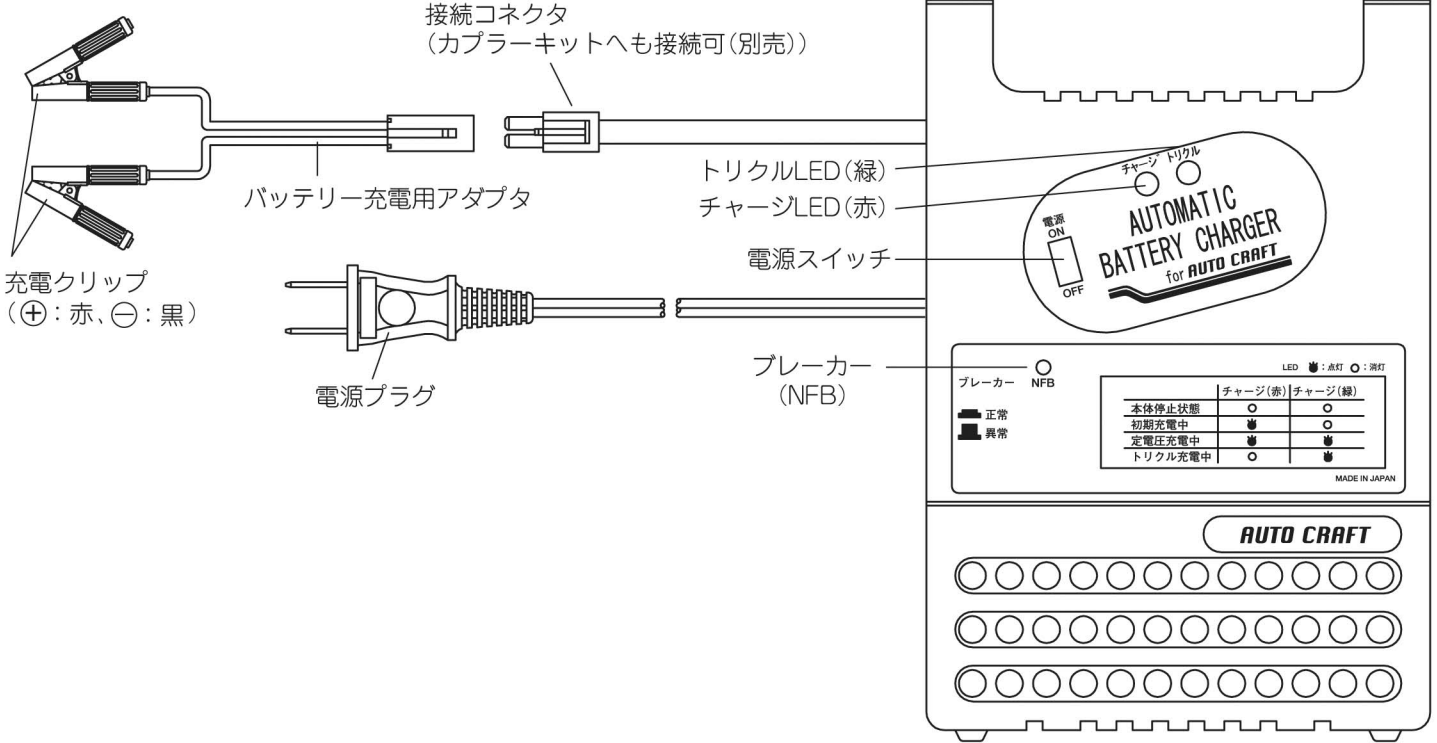
[P1210TR]

充電クリップ

- ⊕: 赤
- ⊖: 黒



[P1230TR II]



主な仕様

製品名	適合電池	入力	出力	安全規格	寸法 (mm)			質量 (kg)	コード寸法 (m)	
					巾	奥行	高さ		入力側	出力側
P1210TR	12V 2.3~28 (Ah/10HR)	AC100V 50-60Hz	DC12V 1A	JET	80	140	65	約0.7	約1.6	約1.5
P1230TR II	12V 14~28 (Ah/10HR)		DC12V 3A		140	101	222			

(寸法に突起物は含まず)

保護動作

P1210TR	1次側	変圧器の異常温度上昇時はサーマルプロテクタが動作し保護。動作後、復帰まで約10分かかります(※1)
	2次側	過電流および出力端子の短絡、逆接続に対してNFBが動作し保護(手動復帰)
P1230TR II	1次側	過電流は充電器内部の電流ヒューズにより保護。変圧器の異常温度上昇時はサーマルプロテクタが動作し保護。動作後、復帰まで約10分かかります(※1)
	2次側	過電流および出力端子の短絡、逆接続に対してNFBが動作し保護(手動復帰)

※1: 動作中は全てのランプが消え充電が一時休止します。

異常時の点検方法

充電器の症状	確認事項	対応方法
赤LEDが点灯しない	電源プラグが外れている	電源を確かめ、プラグをしっかりと差し込んでください
緑LEDが点灯しない	充電クリップが正しく接続されていない	正しく接続してください
	何かしらの異常でNFBが動作している	動作した原因を取り除いてからノブを押して復帰させてください
	バッテリーが過放電されている	再充電を行ってください それでも緑LEDが点灯しない場合はバッテリーを交換してください
緑LEDが点灯するがすぐにバッテリー容量が低下してしまう(セルモーターが回らない)	バッテリーが劣化している	充電を継続しても容量回復できません バッテリーを交換してください

構成材料一覧表

パーツ名	主構成材料	
	P1210TR	P1230TR II
本体ケース	ABS樹脂	
コード類	ビニール被覆銅線	
制御基板	紙フェノール材	
制御基板用放熱板	アルミ板	
ACトランス	珪素鋼板及び銅線	
固定金具		銅板